平成22年２月１日
（2010）
第105号
毎月発行
編　集
公民館だより編集室
発　行
西東京市公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館
南町5-6-11
TEL 461－1170

柳沢公民館
柳沢1-15-1
TEL 464－8211

芝久保公民館
芝久保町5-4-48
TEL 461－9825

ひばりが丘公民館
ひばりが丘2-3-4
TEL 424－3011

谷戸公民館
谷戸町1-17-2
TEL 421－3855

保谷駅前公民館
東町3-14-30
TEL 421－1125

平成21年度 講座参加者の声

今年度も公民館主催事業を数多く開催してきました。その中で多くの出会いと発見が生まれました。各館の6事業について参加者より報告記事を執筆していただきました。

柳沢公民館

夏休み親子陶芸教室

柳沢ラビッツ　寒河井紀子

夏休み恒例の親子陶芸教室は、柳沢公民館と陶芸サークルが共に行う事業です。作陶では初めて粘土に触れ、ぎこちなさそうにこねていた子どもたちが、形を作り上げていく段階になると真剣な表情になっていきます。熱心な姿に確かな手ごたえを感じました。

完成した作品はそれぞれに発想豊かなもので、世界に一つだけの器の誕生です。今年の特徴は、参加した子どもたち全員が物を作ることに集中したことです。その結果、質の高いものが出来上がりました。

親子陶芸教室に関わることで私たちも初心に立ち戻り、いろいろな気づきや学びがありました。この経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。また、柳沢ラビッツは働く人を中心に夜間活動しているので、この機会に他サークルとの交流を深めることができました。

田無公民館

「カレッジ広場」に参加して

廣吉紀二

70歳になるのを契機にして、今までの会社人間から地域社会の活動にも参加する人間に脱皮したくなり、昨年、田無公民館主催の長期講座『田無カレッジ』に参加しました。このカレッジは陶芸や太極拳などもありますが、公民館が選定した講師の方々から色々なことを教わる内容なので、自分の考え方などを皆に述べる機会はありませんでした。

そのカレッジを修了後、自分の考え方などを話せる会合があると聞き、直ちに応募しました。この会は公民館が選定された講師も居られますが、主として自分達が話し合い、議題を出し、進めるものです。

順番を決めて、次々と自分が皆さんに伝えたいことを1人30分以上受け持つもので、いわば、『おしゃべり広場』とも言えるものです。話す人も話す機会を与えられて楽しいでしょうし、聴く方も、話す方の活動状況が分かり、参考になります。

おしゃべりのルールとしては特定の政党や宗教に偏らないこと他人の誹謗、中傷はしないことといった程度で、あとは自由なテーマでの話し合いが出来て愉快な雰囲気になります。

小生も自分が編み出した21世紀の地球を救うコンセプトを拙著『うさぎのQちゃん』（文芸社）をもとに話すことが出来ました。

1班が約8名、それが3班あり、総勢約24名、話し合った後は班ごとにノミニュケーションや、全体の忘年会や打ち上げ会などもあり、楽しい一時を過ごすことが出来ます。この会も一年で終了というのは惜しいです。是非、今後も続けたいですね。

ひばりが丘公民館

保育付講座「しなやかに生きる翼をもとう」に参加して

本田美紀子

この講座の良かったところは、単に子育てのノウハウにとどまらず、子育ての経験から一歩先の社会に目を向け、これからの自分のあり方を考える契機を与えてくれたことにあると思います。

育児から離れ、自分を見つめて勉強する、何ともすがすがしい時間をもつことの大切さを教えていただきました。

地域社会に貢献するということ、その発想すらなかった私に、具体的な情報を提供し、今後の自分がどうすべきかを考える機会を与えてくれました。

私たち参加者が歩んできた生活のほかに、次のステップを踏む場の選択もあるのだということを知らされ、納得したものです。

また、常に自分の意見を述べる場を作ってくださり、人前で話すという普段の生活では滅多にしない体験を繰り返すことによって、少しではありますが、自信がついていったことは、この講座に参加した大きな収穫の一つだったと思います。

いろいろな先生やママ友に出会い、働いているだけでは経験できない、子育てプラスアルファー、ミラクルな世界を経験できたことは、本当に人生の貴重なお宝です。

今後はサークル活動などを通し、お互いに刺激しあい、子育てや人生を楽しくしていけたらいいなと思います。

芝久保公民館

「木工クラフト講座」に参加して

近藤幸子

きっかけは、夫が講座の募集のお知らせを「こんなのがあるよ」と教えてくれたことでした。もともと手芸等、物を作ることが好きで、色々作ったりしていました。

木工クラフトは家に電動糸のこぎりがないとできません。木の持つ温かさも好きなので「これだ！」と思い申し込みました。

講座は少人数で、皆さんとおしゃべりしたり、協力し合ったりしながら、とても楽しく参加できました。先生は、ゆっくり手取り足取りで教えてくださり、電動糸のこぎりが初めてでも2つの作品を仕上げることができました。

できあがった作品はみんなとても個性が出ていましたし、私もとても気に入っています。

物を作るのはとても楽しい経験なので、もっとたくさんの人に体験してもらえたらいいなと思いますし、また何かあったら参加してみたいと思っています。

▲木工クラフト講座　参加者の作品（ロビー展示）

谷戸公民館

晴耕雨読を夢見て
「農業を知る講座」を受講する

吉成　貞樹

農業にはほとんど縁がなかった私ですが夏休みによく遊びにいった母の実家が農家で、そこで胡瓜やトマトをもぎ、また畑にゴロゴロころがっている瓜や西瓜などを取っては井戸で冷やし美味しく頂き、田舎って農家って本当に良い所だなと子ども心に感じたものです。そのころの記憶が定年間近になり鮮明に甦り、いつかは畑を耕し、好きな物を作る晴耕雨読の生活を密かに夢見ていました。

今年、幸いにも農業講座に参加でき、畑の準備（周辺の草取りから始まり、堆肥や化学肥料を混ぜ畝作りをする）から種まき、定植、間引き、収穫と一連の作業の指導を頂き、作ることの難しさと収穫の喜びを教えていただきました。

また講義の中では農薬と食の安全等や、先生がタイから買ってきたホマリというタイ米を炊いて皆で食べたりと、中身の濃い講義を受けることができ、農業をするということが少しは分かった気がします。

私の夢はしばらく実現しそうもありませんが、講義を通して農家の実態を知るにつけ、都市近郊農業を取り巻く環境が益々悪くなるのではと危惧するところであります。

ところでみなさん、ジャガイモの男爵は収穫してすぐ食べられるが、メイクインはしばらく置いてから食べるとよいということをご存知ですか。

保谷駅前公民館

「わがまちの財政はどう変わったか？合併を検証するための財政分析入門講座」を受講して

松宮　正

私は昨年民間の会社を定年退職して「夕張市が二〇〇七年に財政再建団体に指定され事実上財政破綻した」記事を読んでいて、自治体も破綻するものだなーと感じていました。それで、この講座を受講しました。

［受講して感じたこと］

・企業では「損益計算書」や「貸借対照表」を作成しますが、西東京市財政状況を知るには総務省のホームページから「四点セット」や、東京都からの決算カード（これは東京都のホームページからは不可）及び市の「西東京市財政白書」があることを知りました。

・これらを読んでも「言葉」が解らずそれを講師から説明を頂き、学習をして来ました。それでもなかなか理解は難しかったのですが、概要は解った気持ちになりました。

［次回に向けて］

受講者の方には、私の様に初めての人や、相当詳しい人もおられました。講師や、受講生の方々と「お互いに意見を語る場」が有れば、一層理解が深まります。次回の地方財政の講座が二月から予定されていると聞いています。参加して深めていきたいと思います。

目の不自由な方に声の「公民館だより」をお届けしています　谷戸図書館（☎421－4545）へお問い合わせを